

学生各位

青森公立大学 学長 香取 薫

青森公立大学の学生のコロナ対策について【冬休み改定版】

長い冬休みにおいても、自分と大切な人を守るために、改めて下記の点に注意してください。

また、感染症患者等に対する偏見・差別や誹謗中傷などは謹むとともに、いたづらに不安感を抱くことなく感染症に対する正しい知識に基づき、冷静な行動をお願いいたします。

- ① 大学内外を問わず、必ずマスク等（タオルでも常時装着なら可、手作りマスク可）を着用すること。
- ② 規則正しい生活を送り、体調管理に努めるとともに感染症対策すること。
- ③ 新たな感染者が持続的に発生している地域への移動は、慎重に判断すること。

友人等との会食や飲み会、サークル旅行など多人数での集団旅行や、課外活動におけるイベント・合宿における感染リスクについては、特に注意すること。課外活動については、感染リスクに鑑み、活動を制限する場合がありますので、学外活動を行う際は事前に事務局に相談すること。

感染リスクが高まる「5つの場面」

政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会(R2. 10. 23)

<p>場面① 飲酒を伴う懇親会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。 ● 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。 ● また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。 	<p>場面② 大人数や長時間におよぶ飲食</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。 ● 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。 
<p>場面③ マスクなしでの会話</p> <ul style="list-style-type: none"> ● マスクなしに近距離で会話をするなどで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。 ● マスクなしでの感染例としては、昼ラオケなどでの事例が確認されている。 ● 車やバスで移動する際でも注意が必要。 	<p>場面④ 狭い空間での共同生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。 ● 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。 
<p>場面⑤ 居場所の切り替わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。 ● 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。 	

【注意点】

- 新型コロナウイルスに感染した場合はもちろんですが、感染が疑われる場合（別紙に該当する場合）も早急に事務局にご連絡ください。また事務局では、皆さんが安心して学生生活が送れるよう様々な相談に応じていますので、決してひとりで悩まず、気軽に相談してください。
- 3月29日（月）からオリエンテーションが始まりますので、実家に帰省するなど県外に滞在している方は3月14日（日）頃までに青森市内アパート等での生活を始めるようにし、検温など健康観察を徹底してください。
- 今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況により、大学からの緊急のお知らせがある場合がありますので、日々ホームページ及びメールを確認してください。